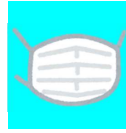


図書館便り・お知らせ 第7号



— 図書館 来てね! —



茨城県近代美術館・いわいとしお展紹介



* 岩井敏夫さんは、愛知県出身で、学生時代を茨城で過ごしました。筑波大・大学院芸術研究科デザイン専攻総合造形を修了しています。この展覧会は、小さな子どもに人気の『100かいだてのいえ』の絵本展です。1階から100階まで書かれた「絵本」のページをつないで展示をされました。小さな子どもの横にはその子のお母さんやお父さんが寄り添い、絵本にふれたがる子どもに、盛んに話しかけています。このような親子連れの姿は、とても微笑ましいです。* 同時に、1962年生まれの好奇心豊かな岩井くんが、どのようにしてメディアアートに目覚めていったかを見せてくれる半世紀展です。感性が、とてもゆたかで楽しい展覧会です。感性はどのように生まれ育ったかを、時代背景と一緒に展示しています。おすすめします



*『窈窕 源氏物語』橋本治がそろいました。図書館には、いろいろな人が訳した『源氏物語』があります。読み比べてください。上の写真は寄贈本です。これから、秋の新着本も、到着します。読書の秋です

* オープンスクール他 「さすが、私立ですね」と

図書館見学者の方に言ってもらえて、とてもうれしいです

- ① 図書館を「天井が高く広々していて、見晴らしもいい。余裕があるわね」と感想を言われる
- ② 「難しそうな本がたくさんありますね」と言われ、「学校図書館は、授業の延長線上にあります。調べられる質の高い本を多様に選書します」と答える
- ③ 「うちの子、本が好きです」と言われ、「本の好きな生徒を大切にします。芥川賞・直木賞・本屋大賞などは新刊を、小説は毎日鞆が重いので、できるだけ文庫本でそろえます。コーナー展示やお薦めを工夫して、本を手にとってもらうきっかけを作ります。個々にはもちろん対応します」と答える
- ④ 「図書館便りや POP がたくさんありますね」と言われ、「本を通して豊かな人間性を身につけられるように、たくさん発信します。生徒は iPad 等でどんな本が入ったかな? と見ます」と答える
- ⑤ 「絵本もありますね」と言われ、「中学生や高校生に読んでほしい絵本です。毎週朗読をします。朗読したい生徒には、声の出し方から練習します」と答える・・・こんなやり取りがありました
- ⑥ 個別に見学に来られた中学を受験する女の子とそのお母さんと③と同じ話になり、まるでお母さんが入学されるかのように、うきうきと「楽しみだね、がんばろうね」と微笑みあっていました
- ⑦ 「ご入学後、オリエンテーションや図書館便りでご紹介します。図書館でお待ちしています」と話しました

* 紫峰祭に向けて、図書館・図書委員会はイベントを企画しています。その中に、朗読(絵本・詩・小説)の企画も進めています。図書委員以外でも希望者は司書までお申し出ください(司書 白井大治)